

【経営体育成基盤整備事業 十三間戸地区】

自動給水栓の導入と区画拡大による営農の効率化（茨城県河内町）

体制・人材づくり 栽培作物・方法 加工・出荷 販売

【工夫のポイント】

- パイプラインの更新にあわせ**自動給水栓を導入し、水管理労力を低減**
- 整備を契機に地区の主要な担い手へ農地の集積・集約化が進展
- 主要担い手が自ら畦畔除去を行うことにより区画を拡大し、営農を効率化
- これらにより、主要な担い手の**経営規模拡大が実現**

【取組地域の概要】

位置
茨城県 河内町

じゅうさんまど
十三間戸地区

地区面積
96ha

主要作物
水稻

主な支援施策

- ・ 国営新利根川沿岸農業水利事業
- ・ 農地耕作条件改善事業（区画拡大）



茨城県

自動給水栓の設置及び区画拡大

【整備前】

- パイプラインの老朽化により漏水が発生する等、維持管理に多大な労力を要していた
- ほ場が小区画のため、耕作や水管理に多くの時間を要していた



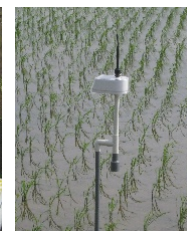
基盤整備
(R4年～)

【整備後】

- パイプラインの更新により、維持管理労力が軽減されるとともに、自動給水栓の設置により、担い手の水管理労力が軽減
- 農地耕作条件改善事業を活用し、担い手自らが畦畔除去を行うことにより区画を拡大



自動給水栓



水位センサー



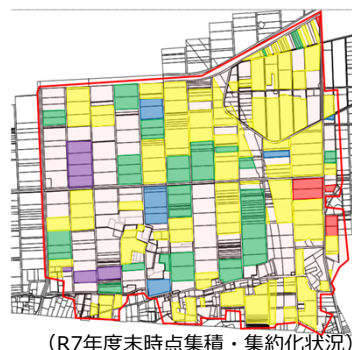
トラクターによる畦畔除去

自動給水栓の活用により水管理労力軽減

担い手の、**水の見回りに要する時間が、5割程度軽減**（担い手からの聞き取りより）

基盤整備を契機に農地を集積・集約化

【農地集積率（集約化率）】



(R7年度末時点集積・集約化状況)

事業実施前 (R3)
29.6% (60.0%)

事業実施後 (R7末時点)
66.8% (78.0%)

目標 (R16)
77.2%

水管理や移動の手間が減少し、**営農が大きく効率化**

主要な担い手が規模拡大し、大規模経営体へ

水管理労力や移動の手間を軽減することで生じた時間を活用し、**主要な担い手が経営規模を拡大し、100haを超える大規模経営体へ**

